



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 中部鋼鋳株式会社

上場取引所 名

コード番号 5461 URL <http://www.chubukohan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 重松 久美男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 上杉 武

TEL 052-661-3811

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	33,307	29.5	2,757	15.7	2,816	17.1	1,869	16.3
29年3月期第3四半期	25,711	11.5	2,384	22.4	2,405	23.3	1,607	22.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,437百万円 (23.2%) 29年3月期第3四半期 1,977百万円 (3.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	66.60	
29年3月期第3四半期	56.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	66,933	58,452	86.8
29年3月期	64,077	56,521	87.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 58,125百万円 29年3月期 56,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		9.00	15.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	27.7	3,900	26.2	3,900	28.2	2,600	27.6	92.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	30,200,000 株	29年3月期	30,200,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,127,404 株	29年3月期	2,127,324 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	28,072,612 株	29年3月期3Q	28,342,996 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用環境の改善や企業収益の増加により緩やかな回復が持続しました。

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業におきましては、産業機械・建設機械向け需要、首都圏の再開発やインフラ整備等の土木・建築向け需要の増加により、引き続き堅調に推移しました。一方、主原料である鉄スクラップ価格は秋口以降一段と上昇しました。このような環境のもと、生産の効率化と継続的なコスト削減に取り組んでまいりました。また、その他事業につきましてもそれぞれが積極的な営業活動を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は333億7百万円と前年同期比75億9千6百万円の増収、経常利益は28億1千6百万円と前年同期比4億1千万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億6千9百万円と前年同期比2億6千2百万円の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(鉄鋼関連事業)

鉄鋼関連事業につきましては、需要環境が堅調なことから主要製品である厚板の販売数量・販売価格が前年同期を上回って推移したことにより、売上高は314億4千2百万円と前年同期比73億9千万円の増収、セグメント利益(営業利益)は26億4千3百万円と前年同期比4億1千3百万円の増益となりました。

(レンタル事業)

レンタル事業につきましては、広告看板部門の受注が減少したものの、厨房用フィルターレンタル枚数が増加したことにより、売上高は前年同期並みの4億1千6百万円となり、セグメント利益(営業利益)も前年同期並みの8千6百万円となりました。

(物流事業)

物流事業につきましては、倉庫増設による取扱量増加により、売上高は3億7千6百万円と前年同期比8千6百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億2千6百万円と前年同期比5千3百万円の増益となりました。

(エンジニアリング事業)

エンジニアリング事業につきましては、案件の着実な受注に努め、売上高は10億7千2百万円と前年同期比1億1千8百万円の増収となりましたが、海外事業に伴う費用計上により、セグメント損失(営業損失)は8千4百万円(前年同四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は1千2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産状況

(資産の部)

流動資産は、379億5千5百万円で、前連結会計年度末より、33億7百万円の増加となりました。その主な要因は、有価証券、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことによるものです。

固定資産は、289億7千8百万円で、前連結会計年度末より、4億5千万円の減少となりました。その主な要因は、投資有価証券が増加したものの、有形固定資産において、減価償却が進んだことによるものです。

(負債の部)

流動負債は、73億9百万円で、前連結会計年度末より、8億7千7百万円の増加となりました。その主な要因は、未払金が減少したものの、支払手形及び買掛金、未払法人税等が増加したことによるものです。

固定負債は、11億7千2百万円で、前連結会計年度末より、4千9百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債が増加したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、584億5千2百万円で、前連結会計年度末より、19億3千万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては平成29年10月19日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」に変更はありませんが、マーケット環境の変化も予想されますことから、今後、業績予想の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,787	6,863
受取手形及び売掛金	11,211	15,910
有価証券	9,638	8,406
商品及び製品	1,916	2,612
仕掛品	809	1,115
原材料及び貯蔵品	2,496	2,836
繰延税金資産	187	121
その他	601	89
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	34,648	37,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,193	7,894
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	13,562	12,783
土地	1,927	1,778
建設仮勘定	196	37
その他（純額）	7	5
有形固定資産合計	23,887	22,501
無形固定資産		
無形固定資産	98	133
投資その他の資産		
投資有価証券	4,699	5,627
長期貸付金	1	1
退職給付に係る資産	6	7
繰延税金資産	210	46
その他	528	666
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	5,442	6,343
固定資産合計	29,428	28,978
資産合計	64,077	66,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,192	5,439
未払金	1,287	576
未払法人税等	242	463
未払消費税等	79	250
賞与引当金	405	210
役員賞与引当金	7	2
その他	217	366
流動負債合計	6,432	7,309
固定負債		
役員退職慰労引当金	21	9
退職給付に係る負債	974	1,056
その他	127	105
固定負債合計	1,122	1,172
負債合計	7,555	8,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,668	4,668
利益剰余金	46,018	47,382
自己株式	△1,044	△1,044
株主資本合計	55,548	56,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	825	1,324
為替換算調整勘定	4	△9
退職給付に係る調整累計額	△151	△102
その他の包括利益累計額合計	678	1,212
非支配株主持分	294	326
純資産合計	56,521	58,452
負債純資産合計	64,077	66,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	25,711	33,307
売上原価	20,250	27,236
売上総利益	5,460	6,070
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,370	1,624
役員報酬及び給料手当	794	806
賞与引当金繰入額	68	72
退職給付費用	73	74
その他	768	735
販売費及び一般管理費合計	3,076	3,313
営業利益	2,384	2,757
営業外収益		
受取利息	20	8
受取配当金	53	80
受取賃貸料	48	52
為替差益	—	2
雑収入	22	12
営業外収益合計	145	156
営業外費用		
支払利息	4	4
固定資産処分損	98	72
雑損失	20	21
営業外費用合計	123	98
経常利益	2,405	2,816
特別利益		
補助金収入	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	19
特別損失合計	—	19
税金等調整前四半期純利益	2,406	2,796
法人税等	780	893
四半期純利益	1,626	1,902
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,607	1,869

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,626	1,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	499
為替換算調整勘定	△62	△13
退職給付に係る調整額	51	48
その他の包括利益合計	351	534
四半期包括利益	1,977	2,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,959	2,404
非支配株主に係る四半期包括利益	18	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	24,051	415	289	954	25,711
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	12	7	1,456	713	2,189
計	24,064	422	1,746	1,668	27,901
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,230	86	72	△12	2,376

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,376
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	2,384

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	31,442	416	376	1,072	33,307
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	49	6	1,728	370	2,154
計	31,492	423	2,104	1,443	35,462
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,643	86	126	△84	2,771

2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,771
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△17
四半期連結損益計算書の営業利益	2,757

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。